RMarkdownをWordファイルに変換

たんじ れいお

2022/4/13

# 要旨

研究の要点をまとめる

# イントロダクション

この研究が扱う領域での研究の流れと、それらに残された課題を説明する。それを踏まえて本研究が行う分析内容、結果の要約を記す。この研究がもたらす貢献を先行研究と比較しながら述べる。全体の構成をざっと紹介する。

# バックグラウンド

研究で扱う領域の背景知識や、制度・システムの沿革を紹介する。

# モデル

扱うトピックをモデルに落とし込んで説明する。例えば、効用関数で、はそれぞれ何に対応していて…など

# 実証分析の手法

## 使用データの説明

どこから持ってきた何のデータか、パネル・時系列データなら期間はいつからいつまでのものか、実験・アンケートなら何月に実施したデータなのかを詳しく記載。アンケートの回答不備などで落とした後の最終的なサンプルサイズを記載。要約統計量を載せる。

| $N$ | 大学進学 | ヒスパニック (%) | アフリカ系黒人(%) | 父親の大学進学率 | 母親の大学進学率 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 3,519 | 20.23302 | 18.67008 | 15.23160 | 9.690253 |
| Yes | 1,220 | 15.65574 | 10.57377 | 36.88525 | 25.409836 |

| 変数 | 平均 | 標準偏差 | 平均 | 標準偏差 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| score | 48.90 | 8.28 | 56.62 | 7.23 |
| unemp | 7.62 | 2.82 | 7.53 | 2.61 |
| wage | 9.48 | 1.34 | 9.55 | 1.36 |
| distance | 1.89 | 2.38 | 1.54 | 2.00 |
| tuition | 0.80 | 0.34 | 0.85 | 0.32 |
| education | 12.94 | 1.14 | 16.30 | 0.55 |

## 実証モデルの説明

使用する回帰分析の式などを記載。

# 結果

実証モデルの推定結果を記述する

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | (1) | (2) | (3) |
| (Intercept) | -0.478 \*\*\* | -0.578 \*\*\* | -0.422 \*\*\* |
|  | (0.050) | (0.052) | (0.055) |
| education | 0.055 \*\*\* | 0.044 \*\*\* | 0.047 \*\*\* |
|  | (0.004) | (0.004) | (0.004) |
| score |  | 0.005 \*\*\* | 0.002 \* |
|  |  | (0.001) | (0.001) |
| ethnicityafam |  |  | -0.118 \*\*\* |
|  |  |  | (0.018) |
| ethnicityhispanic |  |  | -0.155 \*\*\* |
|  |  |  | (0.016) |
| N | 4739 | 4739 | 4739 |
| R2 | 0.048 | 0.055 | 0.075 |
| \*\*\* p < 0.001; \*\* p < 0.01; \* p < 0.05. | | | |

# ディスカッション

推定結果を受けて、背後にあるメカニズムや統計的解釈を超えた議論を書く

# 結論

最近はデータや利用した手法の限界やメインの貢献の強調のみに留まり、さらっと終わることが多い。

* 箇条書きはハイフン、もしくはアスタリスク+スペースでできる
  + スペース4つ or Tabキーで階層下げもいける